

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	23003	事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業		評価分類	A1	
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()						
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	03:高齢者の地域生活支援の充実			款	03:民生費	
		施策の方向	02:介護予防の推進			項	01:社会福祉費	
重点プロジェクト	-		目	03:老人福祉費				
事業期間	R 5 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		高齢者の医療の確保に関する法律				
		担当部署		部		市民文化部		
		課		市民課		医療年金G		

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	持続可能な高齢者施策や介護保険制度の推進が全国的な課題となっており、本市においても、高齢者医療費や介護給付費の増加抑制を図る必要がある。国の法改正により、市町村が高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施するための体制が整えられ、令和6年度までに全市町村での展開が求められている。	後期高齢者医療制度被保険者及び複数の慢性疾患の罹患に加え、フレイル状態になりやすい高齢者 ※フレイルとは、健康と要介護の中間に位置し、加齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態になる危険性が高くなった状態。	高齢者の心身の多様な課題に対するきめ細やかな支援を実現するため、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施し、疾病予防・重症化予防、生活機能の改善を図り、健康寿命の延伸を目指す。	保健師等の医療専門職が医療・健診・介護情報等を活用し、健康課題を把握するとともに、支援対象者を抽出し、低栄養防止・重症化予防、重複投与者等への相談・指導、健康状態不明者の把握等の個別的支援を実施する。また、通いの場等を通じたフレイル予防の普及啓発や健康相談・健康教育及びフレイル状態にある高齢者の把握・保健指導を実施するとともに、一体的に展開するため、庁内関係部署や関係団体との連携を図る。

		年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画			○健康課題の分析・企画・調整 ○訪問指導等の個別支援(ハイリスクアプローチ) ○フレイル予防の普及啓発、健康教育・健康相談(ポピュレーションアプローチ)	○健康課題の分析・企画・調整 ○訪問指導等の個別支援(ハイリスクアプローチ) ○フレイル予防の普及啓発、健康教育・健康相談(ポピュレーションアプローチ)	○健康課題の分析・企画・調整 ○訪問指導等の個別支援(ハイリスクアプローチ) ○フレイル予防の普及啓発、健康教育・健康相談(ポピュレーションアプローチ)	○健康課題の分析・企画・調整 ○訪問指導等の個別支援(ハイリスクアプローチ) ○フレイル予防の普及啓発、健康教育・健康相談(ポピュレーションアプローチ)	
	活動実績 (計画通り実施できたか)			KDB等のデータを活用し健康課題を把握するとともに、健康課題を抱える対象者を抽出し、個別支援を実施した。また、医療専門職が健康教育等を実施するなど、各関係部署と連携しフレイル予防の普及啓発に取り組んだ。 ハイリスクアプローチ:介入者数 60人 ポピュレーションアプローチ:実施数 53回、参加者数 延べ1,014人 庁内連携会議(ワーキング含む):24回	KDB等のデータを活用し健康課題を把握するとともに、健康課題を抱える対象者を抽出し、個別支援を実施した。また、関係部署や関係機関と連携し、医療専門職が健康教育等を実施するなどフレイル予防の普及啓発に取り組んだ。 ハイリスクアプローチ:介入者数 74人 ポピュレーションアプローチ:実施数 57回、参加者数 延べ1,435人 庁内連携会議(ワーキング含む):24回			
計画額	事業費	国・県支出金		7,000千円	5,883千円	6,900千円	6,649千円	6,900千円
		地方債						
		その他		6,930千円	5,883千円	6,830千円	6,649千円	6,830千円
		一般財源		70千円	0千円	70千円	0千円	70千円
	決算額	事業費			5,277千円	5,277千円	5,735千円	5,735千円
	国・県支出金			0千円	0千円	0千円	0千円	
	地方債			0千円	0千円	0千円	0千円	
	その他			5,277千円	5,277千円	5,735千円	5,735千円	
	一般財源			0千円	0千円	0千円	0千円	
①期間内計画額(R4-7)			20,800千円	②期間外計画額(R8-)		-	①+②総計画額	20,800千円

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	6,649千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	フレイル予防の健康教育・健康相談の実施回数	医療専門職によるフレイル予防の普及啓発、運動・栄養・口腔等の健康教育・健康相談の実施回数	活動	回	計画値	30	40	50
					実績値	53	57	
個別支援実施者数	ハイリスクアプローチにおいて保健師、管理栄養士等の医療専門職が訪問等で個別指導を実施した人数	活動	人	計画値	25	35	50	
				実績値	39	55		
個別支援実施者の改善状況	ハイリスクアプローチの個別指導を実施した対象者のうち改善がみられた人数	成果	人	計画値	10	20	30	
				実績値	11	12		

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C)	各関係機関の医療専門職と連携し、低栄養・口腔・身体的フレイル・多剤服用・健康状態不明者のハイリスク者に対し、個別支援を行うことで、重症化予防と生活機能の改善を図った。また、かめやま健康セミナーや出前講座、サロンを対象としたフレイルチェックなど、あらゆる機会を活用し、フレイル予防の普及啓発に努めることにより、高齢者のフレイルに対する理解を深め、その予防への意識づけを促すことができた。
	十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
後期高齢者医療制度被保険者及び複数の慢性疾患の罹患に加え、フレイル状態になりやすい高齢者 ※フレイルとは、健康と要介護の中間に位置し、加齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態になる危険性が高くなった状態。	高齢者の心身の多様な課題に対するきめ細やかな支援を実現するため、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施し、疾病予防・重症化予防、生活機能の改善を図り、健康寿命の延伸を目指す。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
ハイリスクアプローチの個別支援実施対象者の改善率は約2割と低く、短期間での改善は容易ではないものの、一人ひとりの健康課題に対し、効果的に支援を行うために、高齢者を支える医療専門職の関係機関との連携をより一層の強化し、指導効果の向上を図る必要がある。また、高齢者自身がフレイル予防に取り組めるよう、自分事として捉えられる手法を検討し、意識づけを促す必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの
庁内関係部署間や医師会、歯科医師会、薬剤師会等の医療関係機関や地域包括支援センター等と更なる事業連携を進めていく。また、東京大学高齢者研究機構(IOG)開発のフレイルチェックを導入し、フレイルサポーターやフレイルトレーナーを養成する。	フレイルサポーターやフレイルトレーナーと連携し、市全域でのフレイルチェックの展開に向けて取り組む。また、住民主体の活動の促進を図っていく。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴		A	A	
成果判定				
事業展開		継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	市民文化部 市民課 医療年金GL 福井 雅代
最終評価者	市民文化部 市民課長 新海 理恵